

「福田川水系河川整備計画（案）」に対する意見の要旨
及びこれに対する府の考え方

親水公園の設置や、環境に配慮して土堤とするよりも、治水第一でコンクリート護岸としてもらいたい。

強く頑丈な堤防で浸水から守ってほしい。

本整備計画案では、下流部の網野町市街地の浸水被害を軽減するため、近年大きな被害を受けた平成10年9月台風7号や平成16年10月台風23号と同規模の洪水を安全に流下させることを当面の目標とした河川改修を、重点的に進めることとしています。

改修にあたっては、安全性を第一に、施工性や経済性などの観点からも総合的に検討した結果、築堤や掘削によることとし、多様な生物が生息する河川環境の保全にも適切に配慮しながら進めるものであります。なお、橋梁の前後や波浪、潮汐の影響を受ける区間については、必要に応じ堤防を保護する護岸等についても検討を進めていきます。

親水公園等につきましては、河川改修を進めるなかで、京丹後市や住民の皆さまの意見を踏まえ、その設置について検討してまいりたいと考えています。

軟弱地盤箇所での河床掘削等については、周辺民地の地盤沈下の原因ともなるため、施工方法・順序等に注意願いたい。

河床掘削には、洪水によって上流域から土砂が運ばれ川底に堆積した場合に、それを取り除くため行うものと、河川改修で川の断面を大きくする場合に、今の川底を掘り下げられるために行うものがあります。前者は堆積した土砂を取り除き元の川底の高さに戻すものであるため、ご指摘のような影響はないものと考えます。後者については、今後、工事を実施する段階で、周辺地盤の土質状況、地下水位等を十分調査した上で、施工方法等を検討しながら、進めていきたいと考えています。

間伐材、飛石などは治水上支障とならないか。

本整備計画案では、網野町市街地の浸水被害の解消を目的に築堤や掘削などの河川改修を進めることとし、整備にあたっては、間伐材や飛石等を活用し、多様な生物が生息する河川環境の保全や、人が川とふれあえる水辺空間の創出にも配慮しながら進めることとしています。実施にあたっては、ご指摘のとおり間伐材等が治水上の支障とならないように進めていきます。

福田川に流れ込む水路の逆流により冠水被害が起こるため、河川改修と関連して水路の整備も重要な課題である。

京丹後市の内水対策への効率的・効果的かつ早急な取り組みへの連携を願います。

福田川及び新庄川沿川地域の浸水被害を軽減するためには、河川に流れ込んできた洪水を溢れることなく下流に流すように、川の断面を大きくすることや（河川改修）、降った雨を河川まで安全に流すように排水路や排水施設を整備すること（内水対策）などの両面から取り組む必要があります。

このため、本整備計画案においても福田川及び新庄川の河川改修に当たっては、効率的で効果的な治水対策が図れるよう、京丹後市が実施する内水対策と相互に連携を図りながら進めることとしています。

植生の除草、処分を適切に対応願いたい。

日常の維持管理である除草等については、草木の繁茂が河川管理上支障となる場合には、関係機関や住民の皆さまの協力も得ながら、河川環境の保全に配慮しつつ実施することとしており、ご指摘の点については、本整備計画に反映させたいと考えます。

河岸の係留について対応願いたい。

船舶の不法係留などの違法行為については、治水のみならず適正な河川利用の妨げともなることから、関係機関や住民の皆さまとの連携を図りながら、適切に対応するように努めることとしており、ご指摘の点については、本整備計画に反映させたいと考えます。